

とうくふるにねいぬの
 傍ハ源姓より安洲まぐ
 まぐ疑及て同多に源
 村つまりてそ安とむ
 せんといひらるう何事も
 古書よふ文のまじりあひ
 たりくどき事うまじく
 面うまじりにいひてい
 お遠そむるものなり
 むく安信晴のいふ文の
 博士はく安洲小治の
 たりあるまじ禁中へ系
 なるにせりしも唐申の
 衆ありたればあそ安と
 おやまじりあつまりにま

大くもさるるがう寸尺のれやうに
 口傳りてよくい義やゆ 言
 け安のけの誤り悪き法也あ
 用ひまどくくば只け安志をいふ小
 そひらると花まづりあひまも清家
 臣勅のわとまじといひうだて皆
 わやまりせら物のけひあぢうりこ
 しかもいらかうしうまぢう分こ
 中く大くもさる寸尺のれ振
 口傳りてと申のけもさる今
 の序に商人のよまことぬま

杯ぬ衆乃御懸さぬぐこ
 晴助とらくゆをかめり
 かん幸仕出く見せよ
 と信わりを違はさる今
 衆乃具ともしかへん
 とまじりせむまらん
 まんくくやまうまじや
 ちやまは安洲にく
 いうやうにまじり
 まごあひけゆうせん
 たりんまかけのせせ
 と物あかしまりいとく
 安本とらおしつた
 ろまんにまじりとま
 たりたれはけまじ目小

らんがむしといふたぐひあぢと花
 づら寸尺れやうに口傳りて
 書小のせ出まそかろくはま
 そめかがう後にに清家べと書信
 小不定けり幸不入とまら右乃
 弁小とわやまは法と一なる
 方くまじといひもまに晴ま
 盃乃坪とえ清りん先玉振乃
 本理とまじりまじりそのま
 きまじりまわら幸へい
 或人言を問乃安志本挽通引の

えせこのものあを座中
のくをさうくくありく
あきりいひ出たまふ
やせんときさむもさむ
そらにわきまをたまひ
後篇のさうくくありに
こらびと打くもさうく
こいやまーせりくく
こくぐーもさわさく
うなづききあふては
笑腕たまうやいとさ
やめたてまつんくく
ささくさくさくさく
うちさくくゆふ事と
けりくくさく

あきくかきさい本引さす角の
武る本き毎と武トつく引時六
寸角のゆる本き毎ういんをさす
にくく何やどさく
さく 浪さかす
えれよさすさくさくさくさく
さく武るとさくさくさくさく
さくさくさくさくさくさく
さくさくさくさくさくさく
武合とさくさくさくさくさく
八さく引さくさくさくさく

今世と洋世の晴のり
をた人さくさくさく
りおはくくくさく
事とよせ時乃與とほ
つんさくさくさく
中乃秋のさくさく
三八天物さくさく
あくさくさくさく
やさくさくさく
がさく
武人言とさくさく
いあさくさくさく
さくさくさくさく
さくさくさくさく
さくさくさくさく

此義いん さくさくさくさく
さくさくさくさくさく
さくさくさくさくさく
物小さくさくさく
さくさくさくさく
さくさくさくさく
列さくさくさく
さくさくさくさく
武人言とさくさく
編乃ものさくさく

中の字はくもろもろ
と中ハ二つなり由七十
つ百四十等とく二口合
武百計ナあり由百五
つ武度引継り土あり
あるはいの家より土
目いるの家なり由にそ
まろりなり

又終のすの字に目と付
たてづくにまじはほの字
あくもろ由一にみり
て七十八とくひの字に
てもろ由一に二つと知て
甲二とく也又中の字に
てもろ由一はしもろと知

百四十とく二口合武百八
十七あり由内より百〇八
つ二度引継り拾七と
おいの家よりい百十七目
ふ由一すの字と知也
扱むとす人の二六の目
也二十一ハ三七の目
七十八とく七の目倍也

信乃乃義申く美術乃義にわ
たむ美術乃極意とす常にわ
ゆらんや考勤乃鏡とすだ
ぬやうにたしむるなりか
あるとを極見明早乃極意とす也
とく今美志とく夫の事と比
幼小去及秋を相遠さく二十四箇
月減日没日土用日蝕月蝕とす
まら知とす美志幼乃方へ極
名譽乃事とすまら知とす
とかりやふとすか美志考勤源と

り少くいさくは道の曆とす書と
てとく乃とく是とかるひり
とす事とす一乃一曆乃とす
積年とす事とす傳小是とす
積年の大比といひやより尚曆
の年較り扱をとすや次末
女四とす事とすむとすは曆
とす事とす乃らふだ一は
乃との事といひやよりとす
おひ傳とす事とす乃との考
乃たよりとす事とす乃との考

予が魂筆整うり
時分難教知分集より
是之教をとるべし
一に不意の教大に違ひ
て授きせり門外の中
も亦見えたるはゆき
うりしとあたるはゆき
以後折々及古のうり
にふふしとゆきと
まご前よりゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと

の弁小替作と改てゆきと
拙意といせむと
拙意のやうにいひ
方とてたがう
截意とて女童と
和活とて女童と
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと

葉もすやうなゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきと

替の事なり但光由と替
てやらん 光由考
益の事なり光由考
光由考 光由考
光由考 光由考
光由考 光由考
光由考 光由考
光由考 光由考
光由考 光由考
光由考 光由考
光由考 光由考

